

# 2020 年度事業報告書

自 2020 年 12 月 15 日

至 2021 年 11 月 30 日

【目的及び事業】 定款 第 2 章第 3 条・第 4 条より

(目的)

第 3 条 当法人は、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援することを通して空間ディスプレイに対する理解の啓発と浸透、空間ディスプレイによる社会貢献の可能性を広げ、もって、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第 4 条 当法人は、前条の目的を達するため、次の事業を行う。

- ① 日本国内の大学生に対する奨学金の給付事業
- ② 空間ディスプレイに関する研究者に対する研究助成事業
- ③ 空間ディスプレイに関する表彰事業
- ④ その他当法人の目的を達成するために必要な事業

## I. 事業の状況

### 1. 奨学金支給事業

名称：NCF 奨学金事業

#### (1) 募集

##### ① 募集対象

奨学金制度の趣旨（「奨学生募集要項」より以下抜粋）に則り、財団指定大学から推薦を受けた新入学生を対象とした。

（抜粋）乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えて、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据え、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援し社会貢献の可能性を広げることにより、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

##### ② 応募時期

2021 年 4 月 1 日～6 月 7 日

##### ③ 応募件数

7 大学 10 名

##### ④ 選考経過

2021 年 6 月 8 日、財団事務局選考を経て、2021 年 6 月 14 日、財団奨学金選考委

員会による選考が行われ、8名が採択された。2021年7月2日、財団理事・評議委員会が開催され、8名の採用が承認された。

## (2) 採用

奨学生の採用人数（2021年4月入学）および奨学金給付

### ① 採用 7大学8名採用。(以下内訳)

芝浦工業大学 建築学部建築学科	2名
京都工芸繊維大学 工芸科学部デザイン建築学課程	1名
東京都立大学 電子情報システム工学科	1名
東京造形大学 造形学部デザイン学科	1名
多摩美術大学 美術学部 環境デザイン学科	1名
武蔵野美術大学 造形学部・工芸工業デザイン学科	1名
大阪市立大学 工学部建築学科	1名

### ② 給付金 1名あたり85万円(以下内訳)

一律月額5万円、入学一時金25万円

継続の場合 2年生～4年生 年間60万円(月額5万円×12か月) 給付予定。

## (3) 授与

2021年7月2日、奨学金給付認定書の授与式が執り行われた。授与式に出席した3名に財団理事長より認定書が授与された。都合により欠席となった5名は、メッセージを寄せ参加した。

## (4) 2021年度(2022年4月入学生対象)奨学生募集

大学入学を希望する者に広く周知するため、2021年9月より財団ホームページにおいて、次年度の奨学生募集要項の公開を開始した。

## 2. 助成金支給事業

名称：NCF 助成金事業

### (1) 募集

#### ① 募集対象

助成金制度の趣旨(「助成金事業募集要項」より以下抜粋)に則り、当財団が示す空間ディスプレイ分野の研究を志す大学の研究室および当財団が示す空間ディスプレイ分野および関連の教育普及事業(博物館展示を含む)を行う、学会・博物館を対象とした。

(抜粋) 乃村文化財団は、空間デザイン、ディスプレイデザイン、環境デザイン、建築デザイン、情報デザインなどディスプレイに関わる領域全体を広く空間ディスプレイ分野と捉えて、リアルからバーチャルへと未来に向かって進化する新たなディスプレイを見据え、空間ディスプレイ分野を志す学生および研究者を支援し社会貢献の可能性を広げることにより、経済、産業ならびに文化の発展に寄与することを目的とする。

② 募集開始

2021年2月より、ポスター・チラシの配布および財団ホームページ掲載

③ 応募時期

2021年4月1日～5月20日

④ 応募件数

6件

⑤ 選考経過

2021年5月21日、財団事務局にてとりまとめ、2021年6月16日、財団助成金事業選考委員会による選考が行われ、5件が採択された。2021年7月2日、財団理事・評議員会が開催され、5件の採用が承認された。

(2) 採用

採用件数 5件 給付金総額 250万円

申請団体・代表者名	テーマ
東洋大学 ライフデザイン学研究科人間環境デザイン専攻 櫻井義夫研究室 教授 櫻井義夫 (さくらい よしお)	アドルフ・ロースの空間展示リアルとアンリアルな表現による空間体験方法の研究
大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部 空間デザイン学科・建築計画研究室 准教授 朽木順綱 (くつき よしつな)	多視点による共有が可能な客観型VR/ARディスプレイの設計と設営
北海道大学 高等教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) ソーシャルデザイン実習 特任講師 朴 炫貞 (ぱく ひょんじゅん)	アノオンシツのディスプレイを通じた新たな科学技術コミュニケーションの場づくり
東京藝術大学 大学院美術研究科 建築専攻環境設計第一研究室 青木淳研究室 教授/建築家 青木 淳 (あおき じゅん)	テランポリーなりノベーションとしての展覧会
富山市科学博物館 館長 水高清志 (みずたか きよし)	没入型映像によるインタラクティブな空間演出と科学コミュニケーション活動への適用

(3) 授与

2021年7月2日、奨学金給付認定書の授与式が執り行われた。授与式に出席した4件の代表4名に財団理事長より認定書が授与された。都合により欠席となった1件は、担当者によるメッセージを寄せ参加となった。

(4) 2021年度(活動期間2022年4月～2023年3月)の助成金事業参加者募集

① 募集開始

2021年9月

② エントリー件数

14件(11月30日〆切時点)

※応募時期は、2021年12月6日～12月10日

### 3. 表彰事業

名称：学生卒業設計・制作 NCF 空間ディスプレイアワード

(1) 募集

① 募集対象

日本全国に所在する大学の2021年度(2022年3月)卒業予定者の卒業設計・制作作品で、空間ディスプレイに関わるものを対象に募集を開始した。

② 募集開始

2021年9月(応募時期は2022年4月1日～4月18日)

### 4. 助成金および表彰事業の広報活動

2021年9月より、財団ホームページに募集要項を公開、10月にポスター・チラシの配布、対象機関へのメールによる案内通知等を行った。更に、募集記事の教育芸術新聞(日本私立大学協会発行)掲載、公財団法人日本博物館協会HPおよび公益財団法人助成財団センターHPへの募集概要掲載など外部団体を通じて広報活動をおこなった。

## 附属明細書

当年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条 第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。